

ソフト・ハード両面で商品整備し続ける、ホテル華の湯

福島県 磐梯熱海温泉【ホテル華の湯】

【記事投稿者：代表取締役 菅野 豊】

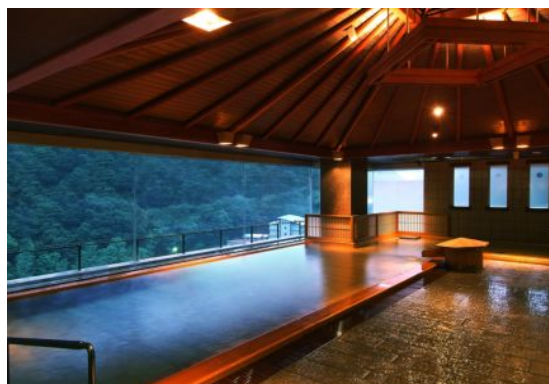
東北の南玄関口にある温泉リゾート、磐梯熱海温泉は、福島空港・磐越自動車道・鉄道等の交通アクセスが充実。郡山市と猪苗代のほぼ中間に位置し、福島観光の拠点となっています。地元、観光のお客様はもちろん、スパ・コンベンションタウン磐梯熱海（多くの会議施設と温泉・宿泊施設が充実、そして研修・ゴルフ・観光等ができる）とスポーツ温泉磐梯熱海（多品種のスポーツに対応した本格スポーツ施設が充実している）をアピールしているので、様々なお客様に年間を通じておいでいただいております。

鎌倉時代に、京に住む萩姫という美しい姫が不治の病にかかり、「都を去る東北方、数えて五百目の川岸に霊泉あり。それに浸れば全快する」とのお告げがあり、その通りたどり着いたのが、磐梯熱海温泉地内にある五百川。ここに湧き出る湯で、萩姫は病も全快し、以来「美人の湯」として親しまれてきました。

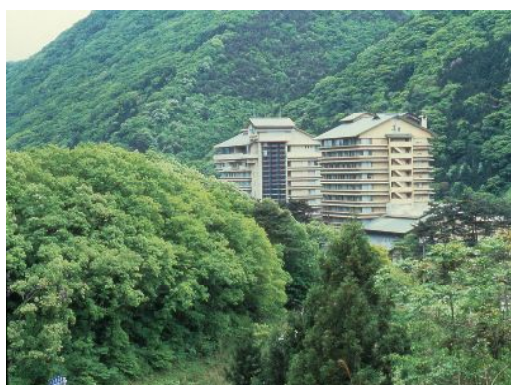


その五百川沿いに、「女の時代を予感する旅館」をコンセプトに、ホテル華の湯（現・松風館）がオープン。以来、華風館の増設と庭園露天風呂群新設で湯舎（ゆや）めぐりと銘打ち、あらゆるお客様のニーズに応えられる旅館へと生まれ変わりました。また、個人のお客様向けに、オープンキッチンのレストラン「旬味きっちん風舞」、かけ流しの露天風呂付客室新設、庭園足湯、お風呂の数も増やして、「30種類のお風呂で湯舎（ゆや）めぐり」と称する等、3度の設備投資で、商品整備につとめてまいりました。





さらに、あたたかいお料理はあたたかい内にお召し上がりいただくために厨房システムを大幅に変えることで、サービス全体のシステムを変えることに成功しました。当ホテルでは、同温泉内に、萩姫の湯栄楽館と湯の宿楽山という、個性の違う旅館二軒も経営していますが、これからも、温泉文化を通して、人々にゆとりとあたたかさを伝え続けていきたいと考えています。そして絶えず、お客様のためになる商品整備をし続け、サービスの向上に努めてまいります。



福島県・磐梯熱海温泉

ホテル華の湯

〒963-1309

福島県郡山市熱海町熱海 5-8-60

TEL : 024-984-2222

FAX : 024-984-2408